



2016年(平成28年)

1月13日

水曜日

特定非営利活動法人  
日本映画映像文化振興センター  
東京都新宿区歌舞伎町2-45-5  
新宿永谷ビル408 〒160-0021  
TEL. 03-3200-2118 FAX. 042-344-3399

# 小中学生映画の魅力体感

## 小平でシネマスクール



石浜朗さん(右)と子どもたちが映画の撮影に挑んだ小平市

## 往年のスター石浜朗さんと作品制作

映画全盛期に行われていた昔ながらの映画作りを学び、その面白さに興味を持ってもらおう。子どもたちを対象に、そんなシネマスクールが小平市であった。完成した作品は2月の試写会で披露される。

映画文化の継承を目指すNPO法人・日本映画映像文化振興センターが2002年から各地で開催し、12回目を迎えた。参加したのは公募で集まった小学5年生から中学2年生の20人。俳優や監督、カメラマンや音声、照明を担当し、代わる代わるカチンコも鳴らした。

撮影した作品「おじいちゃん(1954年)の季節」は、3人兄弟と一緒に暮らす祖父の認知症と向き合いながら、祖父の戦争体験を知って成長していく物語。8日間をかけて挑んだ。

小平市立小平第二小6年

の珠久澄香さん(12)は「映画が好きで、どうやって作っているのか興味があった。撮影の仕方や役者の感情の伝わり方が違っていると、次に映画を見るときはそれを考えながら見てみたい」と話した。

映画作りを教えたのは、かつて松竹や大映、東宝、東映、日活など、名作を生み出した映画会社で経験を積んだベテランたち。後藤俊夫監督らは子どもたちにも厳しく指導し、妥協のない作品作りを伝えた。

祖父役には、「伊豆の踊子」(1954年、野村芳太郎監督)で美空ひばりと共演した往年の大スター石浜朗さん(80)が出演。「映画は何度作っても満足できないもの。次こそは、どのめり込む面白さが伝えられれば」と話した。

試写会は2月11日午後1時から小平市美園町1丁目の市民文化会館「ルネこだいら」で開かれる。無料。

(斉藤寛子)